

朽木地域で学校給食がスタート!



朽木東小学校と朽木中学校のランチタイムが様変わり

10月3日(月)から、朽木東小学校(112人)と朽木中学校(68人)で学校給食が始まりました。2学期が始まり両校では、給食がスムーズに始められるよう、食についての勉強会や、配膳の仕方などの当番活動について、しっかりと準備をしました。これからは安曇川給食センターで作られた給食が毎日運ばれてきます。実際の調理の様子は見ませんが、お家で作ってもらした愛情はいっぱいのお弁当と同様、心も身体も大きく育てて欲しいと、給食センターの栄養士さんや調理師の皆さんが、栄養のバランスのとれた食事を一生懸命作っています。児童生徒の皆さんは、そんな人達に支えられている事を忘れずに、残さずしっかりと食べてください。※詳しくは次号で紹介いたします。(教育委員会総務課)

「もともともおいしい水」と評価!!!



水道水試飲アンケート

市役所の上下水道部水道課では、上水道・簡易水道等を併せて50の施設で市民のみならずへの給水を行っています。また、各水道施設では、定期的な水質検査や施設の管理・改良を行い、安全で安定した給水に努めており、今年度は、下水道管の布設等に伴う水道管更新事業や簡易水道施設の上水道への統合事業等を実施しています。こうした現状の中、9月2日(金)に開催された「滋賀県水道協会設立50周年記念大会」の中で実施された水道水試飲アンケートにおいて、高島市の水道水が県内29の水道事業者の水道水の中で最もおいしいとの評価を受けました。今回の評価を励みに、今後も市民の皆さんに安全で安定した給水ができるように努力していきますので、市の水道施策にご理解ご協力くださいますようお願いいたします。



近頃話題となっている石綿(アスベスト)を利用した水道管(石綿管)について、市民の方より「健康を害するのではないか?」との問い合わせをいただいております。市内にも数カ所ありますが、石綿管を通じた水道水により健康を害することはありませんので、安心してご利用ください。(厚生労働省およびWHO(世界保健機関)の発表による。詳しくは厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)(水道課)

5,500人が参加!

滋賀県総合防災訓練に、ご協力ありがとうございました

9月4日(日)に市内全域で実施された滋賀県総合防災訓練は、191機関、出動人員5,452名の参加の下、無事終了することができました。訓練にご参加をいただいた各自治会をはじめ、各関係機関の皆様方にはご協力をいただき大変ありがとうございました。

今回の訓練は、高島市誕生後初の防災訓練であり、また自衛隊、警察および消防関係機関をはじめ、県内の各関係機関が参加した、今までに経験したことのない大規模な内容でした。災害発生時に実施すべき初期の対応や各関係機関の連絡連携などを確認、実践することができました。今後も防災訓練を定期的に実施し、検証を行い災害に強いまちづくりを努めたいと考えますので、皆様のご協力をお願いします。(総合防災課)



地域消防団の皆さんによる救急講習の様子



赤十字奉仕団等の皆さんによる炊き出しも行われました。



土砂災害により埋まってしまった車からの救助訓練



バケツリレーで火を消す訓練も実施



多くの市民の皆さんが参加されました。

市長日記

今年も豊かに捻った田んぼから、約16万4千トン(27万3千俵)のお米が収穫されました。マキノの8種1万7千本を誇る栗園も、台風の影響もなく連日大賑わいのようです。

愛・地球博が閉幕しました。21世紀の関の声?が聞こえませんか。1970年の大阪万博「人類の進歩と調和」から「自然の叡知」へ。「人類」の都合から「自然」へ。夢に見た1人1台の車、テレビ、携帯電話の時代になりましたが、同時に異常気象や大災害、世界の水や食料の不足、自然からもたらされる化石資源も、自然の持つ浄化力や包容力も限界を痛感する事態となりました。

愛知万博は、まさに文明の映し鏡かもしれません。ロボットや立体映像のハイテクと永久凍土から発見された太古のマンモスに長蛇の列です。自然と人の関わり方が模索され、NPOの参加、地雷廃絶など平和への市民イニシアチブにみる非政府組織の台頭など。千年共生村に象徴される願いが随所に感じとれました。

2040年、子どもたちが親になり万博に行くとしたら...。願わくばこれからの35年で、自然の摂理に沿う、誰か・何かを犠牲にしない「本当の心地よさ」を創る人類の叡知の行爲に参加していきたい。ドイツのバイオエネルギー村として有名なユーンデ村からそのリーダーが訪問くださり、「持続可能な高島を目指して」のテーマの下、1300人の参加者と話を聞く機会に恵まれました。



第1回高島市中学生国際交流事業結団式(9月21日)より「12人の中学生がミシガン州ベトスキー市に友好親善使節として旅立ちました」

海東英和 拝

市政への提案をお待ちしています!!

市長と懇談してみませんか?

市では、市長が市民皆さんの声を直接お聞きする場として、次のとおり広聴活動を実施しています。皆さんの声を直接市長に届ける機会としてご利用ください。

◆よりこそ市長室へ

【月一回、10月は24日に開催します】原則毎月16日(6つの町村が1つになった意味)に、市長室を一般開放して、市民の方と市長との懇談を行います。



8月22日(月)「朽木宮前坊の皆さんと」

5月から4回の開催で18人の方がお越しになられ、市政への要望、提案、苦情などをお話されました。

懇談を希望される場合は、時間の調整等が必要ですので、あらかじめお話になるテーマなどを決めて、該当日の6日前までに秘書広報課までご連絡ください。時間は、おひとり(一団体)あたり30分程度です。

※16日が土・日・祝日の場合や、他の公務と重なる場合は、前後の日に変更させていただきます。場合があります。



9月8日(木)「女性の会連絡協議会の皆さんと」

◆おでかけまちづくり懇談会

【随時開催します】市長が、地域の会館や集会所に出向いてまちづくりについて懇談します。

対象は、各区、各種団体やサークルなどです。テーマに合わせて市長と担当部局の職員が出席させていただきます。

8月には、朽木宮前坊の皆さんと、9月には高島市女性の会連絡

協議会の皆さんと懇談させていただきました。また、懇談会を希望される場合は、時間の調整等が必要ですので、あらかじめお話になるテーマなどを決めて、秘書広報課までご連絡ください。

◆問い合わせ・申込先 市役所秘書広報課 電話(05)81-330